

すべての人が安心・安全に生活できるまちづくりを目指して

郡上市について

郡上市は、平成16年3月1日に当時の郡上郡七町村（八幡町・大和町・白鳥町・高鷲村・美並村・明宝村・和良村）が合併し誕生しました。岐阜県の中央部に位置し、面積のおよそ九割を山林が占め、清らかな河川がめぐる自然豊かな市です。

また、「おどりのまち」としても親しまれ、毎年大勢の観光客が、徹夜おどりに参加して踊り明かします。

令和2年5月1日現在の人口は4万855人、高齢化率36・69%であり、人口の高齢化が進んでいます。

安全で安心なまちづくりを目指して

郡上市民生委員・児童委員協議会は、合併前の七町村の区割りからなる七つの単位民児協で構成されており、140名（うち主任児童委員15名）で活動しています。関係機関・団体と連携しながら、子ども、高齢者、障がい者などにとって、安全で安心なまちづくりを目指して各種活動に取り組んでいます。

それでは、「安全で安心なまちづくり」を目指し取り組んでいる活動の中から、今回は二つの活動について紹介いたします。

【お宝まんじゅう】

「お宝まんじゅう」は、白鳥町にて実施しているサロンです。

毎月二回、障がいや要介護状態の有無に関わらず、子どもから高齢者まで自由に参加できるサロンで、平成27年

からスタッフの自宅を開放して始めました。このサロンは、いわゆる介護予防サ



白鳥町 お宝まんじゅう

ロンではありません。障がいがあっても認知症になっても、可能な限り地域で生活ができるように願いを込めて始めました。

名前の由来は、参加者の認知症のおばあさんが、子どもが来ると「お宝まんじゅうが来た」と言って喜んでくれたことに起因しますが、私たちは参加者・スタッフを含めみんなが「お宝」であると思っています。障がいがあるうが、認知症であろうが、全ての人がかけがえない存在で、それぞれ大切な役割を持っていると感じています。

お宝まんじゅうの集いには特に決められた日課はなく、「集まった時に近況報告をして悩みごとがあればその場で聞き合います。その後、誕生会・カラオケ・介護や子育て相談・各種作業

郡上市民生委員・児童委員協議会

等、参加者の状況に応じて様々な活動をしています。

お宝まんじゅうの活動を続ける中で、単に集まる場所を創るのではなく、様々な立場の人や関係機関と連携し合い、地域の様々な課題を共に取り組み支え合いながら生きていける地域づくりの重要性を感じます。

【子育てしやすいまち】

二つ目に高鷲民児協における主任児童委員の活動を紹介します。郡上市は子育てしやすい「まち」として各種取り組みを行っています。主任児童委員は市の児童家庭課・子育て支援センターと情報共有し、民児協とも連絡を取りながら支援を必要とする家庭と関わっています。

高鷲民児協での主任児童委員の主な活動として、要保護児童への見守り訪問、保育園・小中学校の学校評議会やケータス会議に出席、子育てサロンの実施等もしています。また高鷲町には、保育園に上がる三歳までの乳幼児を持つお母さんたちで作った愛育会という子育てグループがあり、そちらの活動支援も行っています。



高鷲町 愛育会

は、保育園に上がる三歳までの乳幼児を持つお母さんたちで作った愛育会という子育てグループがあり、そちらの活動支援も行っています。

【新型コロナウイルスの流行】

今年5月の放課後児童クラブは、新型コロナウイルスの影響からお預かりする児童を限定して開設しておりました。自粛生活が長引き、支援を必要とする障がい児を持つ家庭サポートも必要となっています。

今回の新型コロナウイルスは、大きな災害時と同様に、学校との話し合いや連携が重要であると感じました。



高鷲町 児童クラブ

「ソーシャルディスタンス」が重要であると感じました。

「三密」などと毎日のように報道されており、向かい合っただけでも手をつなぐこともできない状況を生んでいます。親子で何かに挑戦しようとする前向きな家庭は何組いるだろう、支援が必要な子どもの家庭は誰が支えているのだろう、などと思う中、新しい考え方で新しい生活をつくっていくことが必要なかもしれせん。不安な時代だからこそ私たちの活動が必要だと信じて、一緒に歩んでいきたいと思っています。

【結び】

郡上市民生委員・児童委員協議会の活動の一部をご紹介します。今後におきましても、各種関係機関と連携をとりながら、地域の皆様が安心安全に生活できるよう民生委員・児童委員一同が一丸となって活動に取り組んでまいります。